

授 業 科目名	法学政治学演習	※選 択	開講年次	2	単位数	2
科目区分	専門科目					
サブ タイトル	基本的学習能力の向上のために		担当者	吉田 一雄		
講義概要	<p>【概要】本来、担当者の専門に照らせば英米法が対象となるのだが、配当学年の問題で、受講者には英米法の講義科目を受講する機会がまだないことと、日本法の学習が進む前に英米法を学習することが得策とは思われないので、より一般的な基礎的能力の充実・向上を図る演習としたい。</p> <p>【到達目標】スケジュール管理や業務改善手法を学習管理に適用でき、自分に必要な文献に到達し、整理、分析することが、最小の努力とコストで、かつ自分に必要な速度でできるようになること。</p>					
履修条件	精神活動のトレーニングの性格を持つ授業となるので遅刻・欠席しないこと。 (他の授業の関係で、半期のみ受講でも差支えないので、相談すること。)					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】 (特になし)</p> <p>【参考書】 マインド・マップ関連書籍のいずれか</p>					
授業内容	<p>法学上の資料を対象とする予定であるが、その取り扱い手法には、次のようなものが予定されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 手帳およびポスト・イットの使い方 2. ノートの取り方、またはマインドマップ作成法 3. 速読 4. 速聴 5. 速記 6. メモの技術 7. ファイリングシステム 8. 図書館利用法 9. インターネットでの検索 10. 集中力養成トレーニング 11. 答案、およびレポート作成法 12. その他（アポイントメントの取り方、ビジネスメールの書き方など） 					
評価方法	平常点。					
評価基準	手帳の使い方・ノートの作成方法に習熟していると認められる場合「C」、図書館やネット等の情報検索に習熟している場合「B」、情報分析手法や、業務改善手法を習得している場合に「A」とし、卒業までの法学学習の習得に不安がある場合には、程度により「D」「E」とする。					
その他	指示に従って、または必要に応じて、手帳や事務用品等の購入の必要がある。 ※Eカリキュラムの学生は選択必修科目					